



《公開シンポジウム》

# どうする、どうしたい、わが国の障害者福祉施策 — 障害者総合支援法を軸にその課題と展望を問う —

## 開催趣旨

わが国の障害者数は、964.7万人と厚労省より発表されている（令和3年度末現在）。内訳は、身体障害者436.0万人、知的障害者109.4万人、精神障害者419.3万人の主要三障害であるが、他にも障害者手帳を取得していない難病患者や制度の谷間にある障害者を加えると、ほぼ1千万人（人口の8%）を超えており、更に毎年、増加傾向にある。障害者の家族や関係者を含めると、障害者問題が国民的な課題であることは論を待たない。

障害者は、子どもや高齢者のように年齢で区切られることもなく、障害者福祉の関連施策も医療、教育、労働、介護、母子保健、司法、公共交通、文化、権利擁護など多岐に渡る。関連する法律の数も多く、国際的な動向も影響し法律の制定・改定も毎年のように繰り返される。

今年度を締め括る日本地域福祉研究所の本セミナーでは、21世紀以降の障害者福祉の歩みを振り返ったうえで、障害者基本法、障害者総合支援法、児童福祉法をはじめとする障害児・者福祉制度全般の課題や、障害者権利条約、障害者虐待防止法、障害者差別解消法などの権利擁護施策と、障害のある人の意思決定支援、障害者雇用施策や地域生活の支援施策、入・通所施設の在り方、市町村の障害者基本計画・障害福祉計画の策定、一連の施策の国際基準に照らしての評価、障害福祉サービスの体系や報酬改定など今後の課題や動向を鳥瞰し、3名のシンポジストからの問題提起を受け、参加者と共に議論を深めたい。

- 1.日時: 2024年12月7日(土)  
13時30分開会～16時30閉会（受付13時開始）
- 2.開催方式: 対面参加とZOOMのオンラインによるハイブリッドで行います
- 3.プログラム: シンポジウム形式で行います
- 4.場所: 大正大学5号館3階533教室  
東京都豊島区西巣鴨3-20-1(都営三田線西巣鴨駅徒歩2分)

## 5.シンポジスト:

### 「きょうされん」常任理事・政策・調査委員長

小野 浩 氏

1962年東京都出身。日本福祉大学卒。きょうされん事務局をへて2001年社会福祉法人ウイズ町田を設立。きょうされん常任理事ならびに政策・調査委員長。

### 「公益社団法人やどかりの里」理事長

増田 一世 氏

1978年明治学院大学卒。1979年よりやどかりの里職員。やどかり出版の代表を経て、2001年やどかりの里常務理事、2020年理事長。日本障害者協議会常務理事。

### 筑波大学大学院人間総合科学学術院 教授

小澤 温 氏

東京大学大学院医学系研究科博士課程修了後、愛知県心身障害者コロニー（現、愛知県医療療育総合センター）発達障害研究所、国立障害者リハビリテーションセンター研究所で障害福祉に関する研究に従事する。大阪市立大学（現、大阪公立大学）生活科学部・助教授、東洋大学ライフデザイン学部・教授を経て、2011年より筑波大学大学院人間総合科学学術院・教授。

コーディネーター：田中 英樹（地域福祉研究所副理事長，日本医療大学）

6.主催： 特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所

7.参加費： 正会員(所員):1,300円、一般:2,000円、学生・院生:500円  
団体(オンラインのみ、10名程度まで):10,000円

\*事前振込をお願いします。

8.申込方法： Google フォームよりお申し込み下さい。メールにて振込先と振り込み期日を送付させていただきます。

URL: <https://forms.gle/9TjMhHNd4E4JUbfd8>

または右の QR コード

9.定員： 150名(先着順)

